



鳥羽市は「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」を目標としています。

とばし教育委員会 だより

2023. 4. 1 第25号



より安心な通園バスへ

かもめ幼稚園の子どもたちは、毎日通園バスを利用して元気に登園しています。通園バスの子どもの置き去りを防止するための法改正により、令和5年4月からの点呼等による乗降確認に加え、令和5年度中には安全装置を取り付けることが義務化されました。これにより、より安心して通園バスを利用していただくことができるようになります。

令和5年度 教育予算の概要

第2次鳥羽市教育ビジョンに基づく、令和5年度の鳥羽市教育委員会の主な事業や取り組みについてご紹介します。

しっかり学ぶ子どもを育てる

●外国語教育推進事業 14,558千円

英語を母国語とする専任英語指導助手を市内幼稚園、小学校、中学校に配置し、園児、児童生徒に生きた外国語や文化生活に触れる機会の提供や外国語によるコミュニケーション能力の向上、国際感覚の育成を図ります。また、英語検定やイングリッシュデイなど外国語教育の推進を図ります。



子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育の推進

●海洋教育推進事業 566千円

市内の海に関する学習拠点や研究拠点が「環境」、「いのち」、「産業」、「しごと」、「コミュニケーション」をテーマとした33のコンテンツを作成しています。その中から、各小・中学校が出前授業や各施設での体験学習など、海に関する特色あるコンテンツを選択して、学びを進めます。また、国際的な海洋教育の推進に向け、パラオ共和国の中学生とオンラインによる交流を進めます。



地域・家庭とともにある園・学校づくり

●教育振興事業 4,272千円

学校評議員や学校運営協議会委員を委嘱し、学校と地域の相互の連携・協働のもと、学校を核とした地域づくりを推進します。学校、家庭及び地域住民相互の連携・協働を推進するコミュニティ・スクールにより、地域の特色を活かした事業を展開します。



●鳥羽東中学校大規模改修事業 178,631千円

令和8年度の学校統合再編を見据え、快適な教育環境を整えるため、建築から44年が経過し老朽化が進む鳥羽東中学校の校舎及び特別教室棟の内装を改修するほか、多目的トイレ、交流スペースの建設などに着手します。

生涯学習やスポーツの推進

●公民館維持管理事業 28,874千円

各地区にある公民館20分館の維持管理を行います。また、誰もが安全・安心に施設を利用できるようにするため、河内分館に合併処理浄化槽を新設するほかトイレの洋式化、多目的トイレの設置やバリアフリーを意識した工事を行います。

●博物館運営事業 12,629千円

海洋文化を広めるため、市立海の博物館の魅力を発信するとともに、現役海女さんによる海女ガイドの実施など、指定管理者制度を活用した業務運営を行います。



●生涯スポーツ振興事業 9,087千円

子どもたちのスポーツ環境を整えていくため、スポーツ指導者の資格取得を促進していくほか、休日部活動の地域移行を見据えながら、本市の実情に合った方針等を決めていきます。

CSディレクターの活動を振り返って

安楽島小学校CSディレクター 小久保義樹・竹田照人

安楽島小学校では、令和4年度に保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を10名の委員で発足しました。

私たちCSディレクター（コミュニティ・スクールディレクター）は、このコミュニティ・スクールを円滑に機能させるため、学校と保護者や地域をつなぐ役割を担っています。

令和4年度は、年4回の会議のほか、PTAや安楽島小学校区青少年育成会などとの事業連携サポート、子どもたちの学校生活や登下校の見守り活動、他校のCSディレクターとの情報交換などを行ってきました。

初年度はディレクター2人体制で、互いに協力し合いながら円滑な運営協議会活動のサポートに努めてきましたが、「目指すべき姿」になるためには課題も多く、実施していかなくてはならないことがたくさんあると考えています。



これからも、目標に向かってより多くの関連団体との連携強化を図りながら、学校運営のサポートや学校と地域の連携・協働に関わる地域人材の発掘や育成につながる活動を行うなど、子どもと教職員の心の充実が図れ、地域全体で学校運営を支えるコミュニティ・スクールづくりができるよう努めていきますので、今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

英語教育の推進

鳥羽市英語教育推進計画に沿って、実践的なコミュニケーション能力を育成するため、さまざまなかたちで子どもたちへの英語学習を進めています。

令和4年12月23日には、市民体育館サブアリーナにおいて、鳥羽イングリッシュユナイテッド（鳥羽ロータリークラブ共催）が実施されました。営島小、答志小、神島小の4年生から6年生の児童27名が参加し、6名のALTによる英語の特別授業を行いました。授業はもちろんオールイングリッシュです。



授業では、「My hometown」をテーマに、自分たちが住む島の良さや、そこで楽しめることなど、英語でメッセージを発信できるように練習しました。最後には、プレゼンテーションを聞いた他の参加者からの感想や意見に対して英語で返答するなど、自分の考えや気持ちを英語で伝え合う姿が見られました。

ふるさと鳥羽について、その良さを英語で発信することができる、または諸外国の歴史や文化にも同様の敬意をもち友好的関係を築くことができる。このようなねらいをもって、今後も英語教育を推進していきます。

「集まれ！知ってほしい！」

鳥羽の盛りだくさん（あつまり）

鳥羽小学校

鳥羽小学校では、「集まれ！知ってほしい！鳥羽の盛りだくさん（あつまり）」と題して令和5年3月3日に、6年生児童33名が、観光客や市民に向けて、鳥羽の魅力を紹介しました。

6年生は4月から総合的な学習の時間に「鳥羽っ子学習」として、鳥羽なかまちや答志島、鳥羽城跡周辺を地域の方や専門家の皆様に案内していただきながら、実際に歩いてたくさんの方の発見をしたり、地域の方々に学校へお越しいただき、鳥羽の魅力を学習したりしてきました。2月には市長と意見交換をする機会もいただきました。

このように学習してきたことを活かし、市内の観光スポットを「鳥羽



の魅力マップ」として、鳥羽なかまの観光スポットを「なかまっぶ」としてまとめました。

今回は取り組んできた成果を発揮する機会として、鳥羽駅前、鳥羽マールシェ周辺、中之郷駅前、鳥羽なかまち、城山公園の5か所に分かれて、調べてきたことを直接観光客や市民の皆様に紹介する活動を行いました。

学習してインプットしたことをアウトプットする取り組みとして、今回のイベントは、子どもたちにとって有意義なものであると同時に、深く心に刻まれたことでしょう。



2022年度山田優杯

鳥羽・エペフェンシング大会

鳥羽市出身のフェンシング山田優選手が東京オリンピックでの金メダル獲得や国体に向けて作り上げてきたレガシーを活用し、次世代を担うフェンサーの育成を目指して、令和5年1月14日・15日の2日間、市民体育館でフェンシング大会が行われました。

21都府県より小・中・高校生114名の申し込みがあり、熱戦が繰り広げられました。山田優選手も会場に駆けつけ、サイン会や抽選で選ばれた選手との対戦などの交流イベントも行われました。また、フェンシング競技の普及を目的として、スポンジの剣を使用しレクリエーション感覚で楽しむチャンバラフェンシングの体験会も行われ、大いに盛り上がりま

した。



ご意見ご要望をお寄せ下さい